

## Ⅱ 芦屋市の平和事業

戦後70年・非核平和都市宣言30周年記念事業  
(平成27年度実施事業)

平和事業

平成28年度「小学生の描いた平和ポスター展」受賞作品

平和首長会議加盟都市としての活動



## 戦後70年・非核平和都市宣言30周年記念事業 (平成27年度実施事業)

### 蓮池薫さん講演会 『夢と絆』

平成18年6月に、「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行されました。この問題についての関心と認識を深めるため、拉致被害者である蓮池薫さんに、24年間の拉致生活の苦悩、そして「今」について語っていただきました。

- 日時：8月8日（土）午後2時～午後3時30分
- 会場：ルナ・ホール
- 講師：蓮池薫さん（新潟産業大学経済学部准教授）
- 入場者数：627人



### 戦後70年・非核平和都市宣言(芦屋市議会)30周年記念銘板設置除幕式 及び平成27年度「小学生の描いた平和ポスター展」表彰式

戦後70年及び市議会が「非核平和都市宣言」を決議してから30周年を迎える節目の年であることを記念して、記念銘板を設置し、除幕式を行いました。

また、「小学生が描いた平和ポスター展」の3賞（市長賞・教育長賞・議長賞）及び優秀賞を受賞された方々を対象に、表彰式を行いました。

- 日時：10月18日（日）午前10時～11時
- 場所：芦屋市役所北館前広場

<式次第>

開 式

挨拶 芦屋市長 山中 健  
芦屋市議会議長 畑中 俊彦

記念銘板除幕

平和ポスター展 入賞児童表彰

記念撮影

閉 式



## 非核平和都市宣言の決議まで

芦屋市議会には、昭和59年6月20日に「非核都市宣言の決議を求める請願書」が市内の団体から提出され、総務常任委員会で審査されました。

この請願は継続審査となり、すぐには結論が出されませんでした。その後、昭和60年6月25日に10件の「非核都市宣言の決議を求める請願書」が、同年9月26日には「非核平和都市宣言の決議を求める請願書」が2件、「非核都市宣言の決議を求める請願書」が5件、いずれも市内の自治会や団体から提出され、総務常任委員会で審査されました。

昭和59年6月20日に提出された請願を含め、これら18件の請願は、昭和60年10月1日の総務常任委員会で採択され、続く10月15日の本会議で採択されました。

これらの請願が採択されたことに伴い、同日「非核平和都市宣言」決議案が議員提出議案として提出され、可決されました。

### 議員提出議案第20号 非核平和都市宣言

議会は、昭和40年代から非核武装宣言に関する決議などを行い、平和な社会建設への要望を行ってきた。しかし、それ以後も米ソの対立を背景とする冷戦は拡大し、それに伴って核兵器を中心とする軍備拡張戦争も加熱化していた。1980年代に入ると、ヨーロッパでは限定核戦争への危機感から核兵器廃絶運動が高まり、イギリス・マンチェスターなどで非核都市宣言がなされた。我が国でもこれらの運動に呼応する形で反核運動が盛り上がり、この年、本市議会でも非核平和都市を宣言することとした。



戦後70年・非核平和都市宣言(芦屋市議会)30周年記念銘板

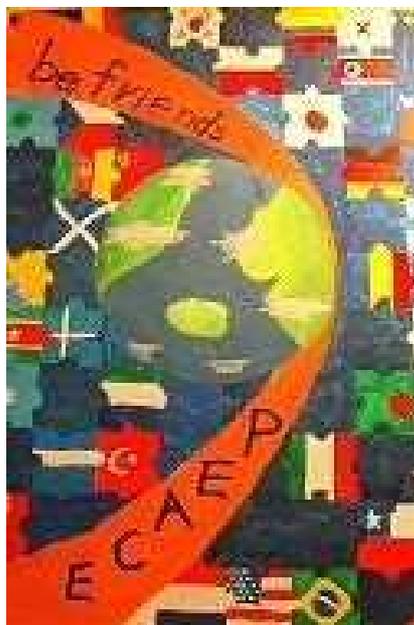
## 非核平和都市宣言

緑濃い六甲の山，  
青く澄みきった空，  
清らかな川の流れ，  
夕日に映える瀬戸の海，  
この美しい自然は，  
わたしたちの宝であり，  
未来の子供たちに残すことは，  
わたしたちの願いです。  
けれども，この願いに背をむけるかのように  
核兵器は増え続け，  
世界を破滅の淵においやろうとしています。  
核兵器の廃絶は，今や，全人類の死活にかかわる  
最も緊急の課題であり，  
最大の願いにほかなりません。  
戦後いくたびか，  
平和を願う人類の理性と決意は，  
核兵器の使用と核戦争を防いできました。  
わたしたちは，この理性と決意を信頼し，  
かけがえのない生命の星，青く輝く地球を  
笑顔にあふれる子供たちに残すため，  
いまふたたび，心をひとつにして  
核兵器を廃絶するよう，全世界によびかけます。  
そして，国是である非核三原則の厳守を  
強く希望するとともに，  
わたしたちの街・芦屋をいかなる形であろうとも  
核兵器に関連して使わせないことを自ら決意し，  
ここに非核平和都市であることを宣言します。

芦屋市議会（昭和六十年十月十五日決議）

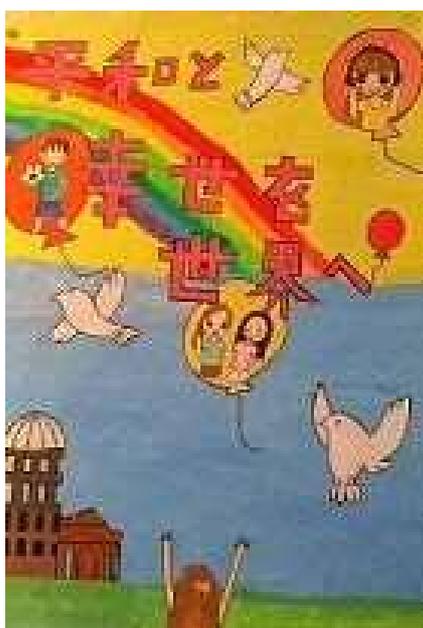
平成 27 年度「小学生の描いた平和ポスター展」表彰作品

市長賞



打出浜小学校 6年 飯端 香乃さん

議長賞



宮川小学校 6年 千代川 美羽さん

教育長賞



朝日ヶ丘小学校 6年 砂川 いぶきさん

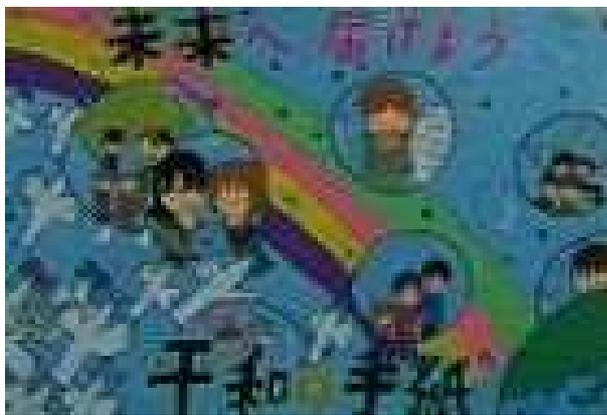
優 秀 賞



浜風小学校 4年 古川 心那さん



朝日ヶ丘小学校 6年 岡野 瑞季さん



朝日ヶ丘小学校 6年 藤井 恵理奈さん



岩園小学校 6年 喜田 春月さん

## 公民館・文化セミナー 戦後70年「阪神間と芦屋の空襲について」

芦屋市を含む阪神間は、昭和20年に米軍の空襲を受けましたが、本文化セミナーでは、尼崎市立地域研究資料館館長の辻川敦先生が阪神間の空襲について、芦屋市生涯学習課文化財係長の竹村忠洋（学芸員）が芦屋市が受けた空襲と市内の戦争遺跡について、講義しました。

講義後、参加いただいた方々から、当時の戦争体験等についてご発言いただき、貴重な証言を得ることができました

文化セミナーでは、参加者全員で戦後70年を考えることができました。

■開催日：7月16日（木）午前10時～午前11時30分

■会場：市民センター 401室

■テーマと講師：（1）阪神間の空襲について

尼崎市立地域研究資料館 館長 辻川 敦 氏

（2）芦屋市が受けた空襲と市内の戦争遺跡

芦屋市教育委員会社会教育部生涯学習課

文化財係長（学芸員） 竹村 忠洋

（3）参加された方々から当時の体験を・・・

■参加者数：45人

### 【参加された方々の当時の体験談】

○浜に高射砲があった。

○芦屋川川尻に高射砲があった。

○芦屋川沿いで軍隊の練習をしていた生徒に機銃掃射があった。

○清水町で省線の鉄道が機銃掃射にあっていた。警戒警報はなかった。

○茶屋之町の広っぱに撃ち落された米軍戦闘機から脱出したパイロットがパラシュートで降りた。

○昭和20年8月5日～6日夜間の空襲では、B29は1機ずつ順番に飛んできた。



## 平和事業

芦屋市では、毎年終戦記念日までの1か月間、平和事業「みんなで考えよう 平和と人権」を開催しています。

### 平成28年度事業

#### 小学生の描いた平和ポスター展

平和の絵を見て、家族で平和の尊さを考える機会とします。

- 期間：7月16日（土）～8月15日（月）＜休館日除く＞
- 場所：市民センター空中通路
- 出展数：176点

#### 平和展 「阪神間文学にみる 大戦下の街と暮らし」

終戦の年を、阪神間で暮らしていた野坂昭如、小松左京、須賀敦子、遠藤周作たちが描いた戦時下の阪神間の街と暮らしを、作品の抜粋、当時と現在の写真を合わせて本とともに展示しました。また、野坂昭如も作品の中で触れている夙川の喫茶パボーニの大石輝一画伯が描いたブスケ神父の肖像画を展示しました。

- 開催日：7月16日（土）～8月15日（月）
- 会場：市民センター 展示場



喫茶パボーニで戦時中の思い出を語る野坂昭如

#### 講演会 成瀬國晴『学童集団疎開』

講師のイラストレーター成瀬國晴氏は、学童集団疎開70年の2014年、自らの体験を描いた画集「時空の旅」を刊行し、多くのマスコミにも紹介されました。今回、画集の画像を見ながら体験談を語っていただきました。

- 開催日：8月4日（木）午後2時～午後3時30分
- 会場：市民センター 401室
- 講師：成瀬國晴氏（イラストレーター）
- 入場者数：26人



## 第58回ふれ愛シネサロン「アオギリにたくして」

### — ヒロシマからの愛の伝言 感涙の物語 —

広島平和記念公園被爆アオギリの木の下で、たくさん子どもたちに被爆体験を語り継いだひとりの女性の物語。

- 原作・脚本・監督：中村柊斗
- 出演：風見しんご、菅井玲、塩出純子、斉藤とも子  
ほか
- 上映時間：8月6日（土）
  - ①午前10時～正午
  - ②午後1時30分～午後3時30分
- 会場：上宮川文化センター 3階ホール
- 入場者数：101人



## 夏休み・平和を考えるアニメ映画会 「マヤの一生」

太平洋戦争下での動物たちと家族の心あたたまる交流を通して、愛と平和、命の尊さを描いた感動の物語です。

- 日時：8月10日（水）  
午前10時15分～午前11時45分
- 会場：市民センター別館 219音楽室
- 入場者数：23人



## 平和の絵本読み聞かせ

絵本講師が、平和の絵本の読み聞かせと紹介をしました。

また、絵本を手にとって自由にご覧いただきました。

- 日時：8月6日（土）第58回ふれ愛シネサロン上映時間の前後に実施。
- 場所：上宮川文化センター 3階ホール前
- 講師：NPO法人「絵本で子育て」センター



## 児童センター映画会 「象のいない動物園」

戦争のために殺された多くの動物たち。

「かわいそうな象」のエピソードをもとに描いた本当にあったお話です。

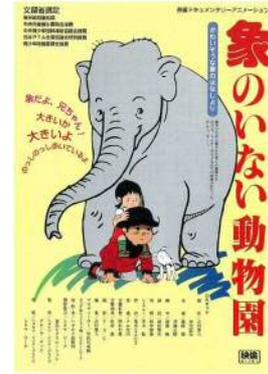
■日時：8月4日（木）

①午前10時20分～午前11時40分

②午後2時～午後3時20分

■会場：上宮川文化センター 3階ホール

■入場者数：129人



## 「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める署名活動

平和首長会議では、世界の恒久平和の実現を目指し、人類の共存を脅かす核兵器・飢餓・貧困等の諸問題の解消、難民問題や人権問題の解決、環境保護のため、友好と親善を基調としつつ活動しています。

2020年までの核兵器廃絶を目指す「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める要請署名活動に市民の皆様のご協力をお願いしています。

署名活動は、下記の日程で行いました。

### 署名活動の日程

■7月28日（木）、29日（金） 午前11時30分～午後2時

（市民センター展示会場）

※平和首長会議「ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター展」同時開催。

■8月6日（土）

午前9時30分～午後4時

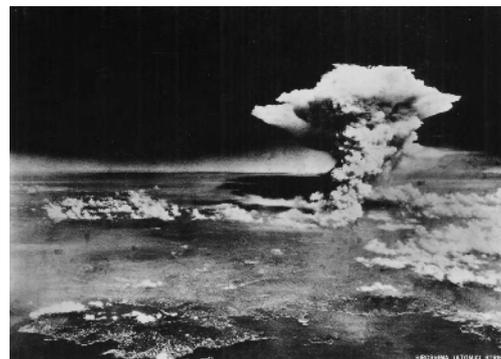
（上宮川文化センター 3階ホール）

■8月10日（水）

午前9時30分～12時15分

（市民センター別館 219音楽室前）

■署名数：195筆



## ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相「ポスター展」

市民センターにおいて、終戦記念日の前1か月展示。



## 「平和の鐘を鳴らそう!」

芦屋ユネスコ協会では、芦屋市及び芦屋市教育委員会と共催で、毎年8月15日に市民センター本館玄関横の「優愛の鐘」を鳴らし、その後平和の集いを行っています。

この運動は、国連の定めた世界の平和と人類の福祉の向上のための平和の取組として始められたものです。

一人ひとりの心の中にある「平和への祈りと願い」を鐘の音に託し鳴らします。

■日時：8月15日（月）

午前11時45分～午後2時

■会場：市民センター本館玄関横の「優愛の鐘」前・401室

■内容：第1部 平和の鐘を鳴らしましょう

第2部 ミニ講話「阪神間文学にみる大戦下の街と暮らし」

講師 蓮沼純一さん

語り継ごう「私たちの戦争・戦後体験」

みんなで「平和のうたを歌いましょう」

■参加者数：約100人

芦屋ユネスコ協会は、ユネスコ憲章に基づき、教育・科学・文化・コミュニケーションを通じて「平和の志」を掲げ、草の根の市民活動を発展させ、併せて会員相互の親睦を図ることを目的に様々な活動を展開しています。

1947年に日本で3番目に発足した歴史ある協会です。



## その他平和への取組

### 広報紙・ホームページによる啓発

平和事業「みんなで考えよう平和と人権」の掲載  
広報あしや8月1日号 平和関連記事掲載

### 「非核平和宣言都市・芦屋」の啓発看板掲出

毎年7月1日から11月1日まで、本庁舎に啓発看板を掲出しています。



### 核実験への抗議

核兵器の全面禁止と廃絶をめざして、核実験を行った国に対して、抗議文を送付しています。

### 平和行進の受入

毎年7月に、核兵器廃絶国民平和大行進，日本山妙法寺の平和行進団を受け入れ、市長メッセージを贈り、恒久平和を祈念しています。



## 平和モニュメント

平成12年は、西暦2000年、市制施行60周年、教育委員会・消防本部発足50周年、また、芦屋市議会において、非核平和都市宣言の決議をしてから15周年に当たる年でもありました。

これら節目の年を記念し、市民が主体となって「平和モニュメント建設実行委員会」を組織し、市役所北館前広場に「平和モニュメント」を建設しました。

また、タイムカプセルを平和モニュメント銘板の後方の地中に埋設し、その中には寄附者の芳名録、チラシ、ポスター、当日の新聞などを収納しており、市制100周年目の2040年に開封します。



### ■ 碑文 ■

#### 芦屋市平和モニュメント

私たちは、来る21世紀が戦争のない、恒久平和の時代であることを願い、後々の世代まで平和の尊さを伝えるため、平和モニュメントを建設しました。

このモニュメントの四本の石柱は、芦屋市の基盤である旧4ヶ村の芦屋村、打出村、三条村、津知村を表しています。

全体のフォルムは四本の柱がしっかりと大地に根をおろし、一つになることで芦屋市の発展と市民の平和を願う姿を表現しています。

本年は芦屋市にとり、市制施行60周年などの記念の年にあたり、モニュメント建設の趣旨に賛同された多くの方々のご寄附により建設したものです。

平成12年（2000年）11月10日

平和モニュメント建設実行委員会  
芦屋市

## 原爆死没者慰霊及び終戦の日の戦没者慰霊黙とう

毎年、8月6・9日の広島・長崎原爆忌及び8月15日の終戦の日に黙とうを呼びかけ、原爆死没者及び戦没者慰霊と恒久平和を祈念しています。当日は、本庁舎に半旗を掲揚。

## 戦没者合同追悼式等の実施

戦没者、戦災死没者及び海外引揚物故者の方々を追悼し、世界の恒久平和を祈念するため、5年ごとに市主催の合同追悼式を実施しています。平成27年度実施時は、戦没者等ご遺族約150名が参列されました。

また、芦屋市戦没者遺族会では、戦没者の方々を追悼するため、追悼式のほか、8月15日には芦屋霊園において墓前祭を実施されています。



平成27年10月23日開催 於) 芦屋市保健福祉センター

## 芦屋市霊園

### 戦死戦災者慰霊塔



昭和30年11月 芦屋市建立

### 太平洋戦争空爆殉難者之墓



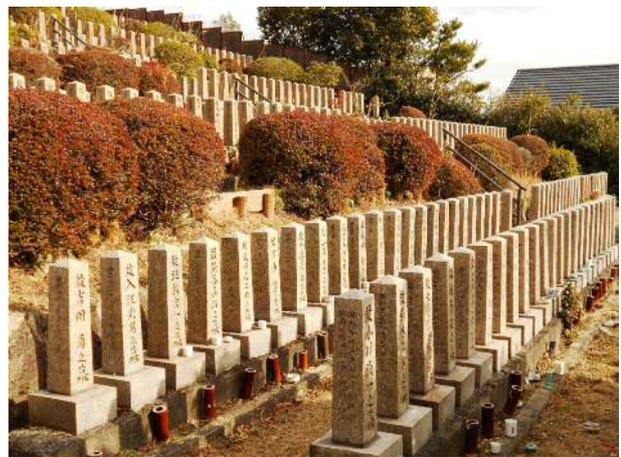
昭和45年7月 芦屋市戦災死没者遺族会建立  
(平成17年11月 同会解散)

### 海外引揚物故者慰霊塔



昭和44年10月  
兵庫県海外引揚者連盟芦屋支部有志建立  
(現 一般財団法人HKD)

### 軍人墓地



昭和33年5月 軍人墓地開眼

## 戦禍を乗り越えたクスノキ

樹齢100年を超えるこのクスノキは、大戦の空襲により幹の東側に大きな損傷を受けながらも戦禍を乗り越え、その傷は今でも見ることができます。

まさに歴史の証言者です。



平成28年度「小学生の描いた平和ポスター展」受賞作品

市長賞



宮川小学校 4年 真野 愛理さん

教育長賞

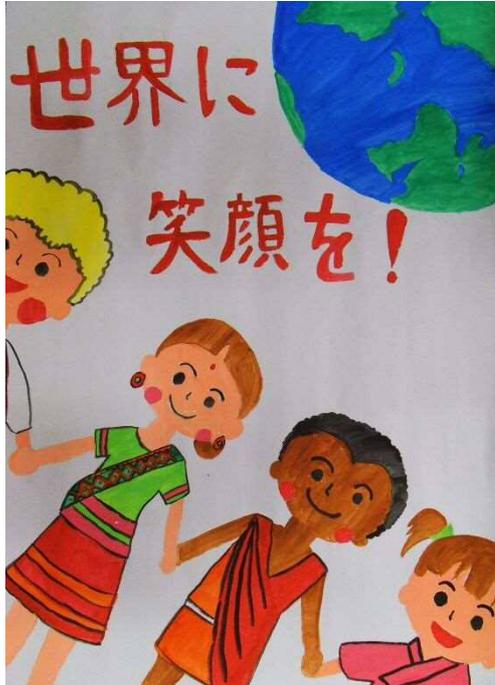


朝日ヶ丘小学校 3年 松村 耕太郎さん

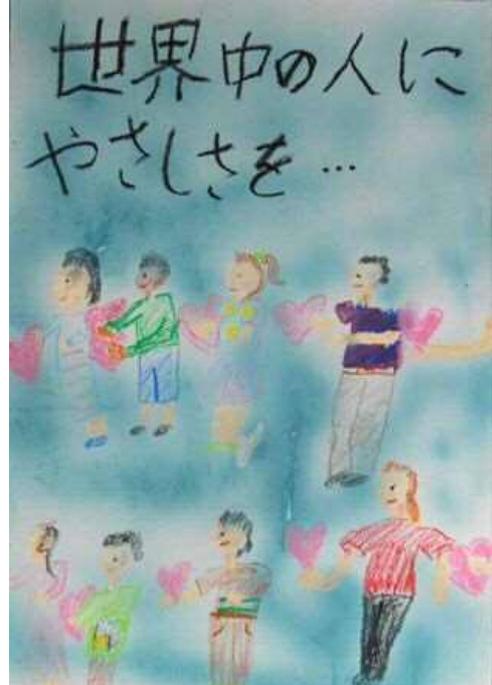
優 秀 賞



山手小学校 5年 青木 乙華さん



潮見小学校 6年 近藤 優羽さん



岩園小学校 5年 藤原 梨央奈さん

優 秀 賞



打出浜小学校 3年 田中 らにさん



朝日ヶ丘小学校 3年 西田 宇々亜さん



浜風小学校 4年 山本 晏菜さん

努力賞



宮川小学校 4年 奥谷 碧泉さん



山手小学校 5年 田中 慎人さん



山手小学校 4年 正源司 陽子さん

努力賞



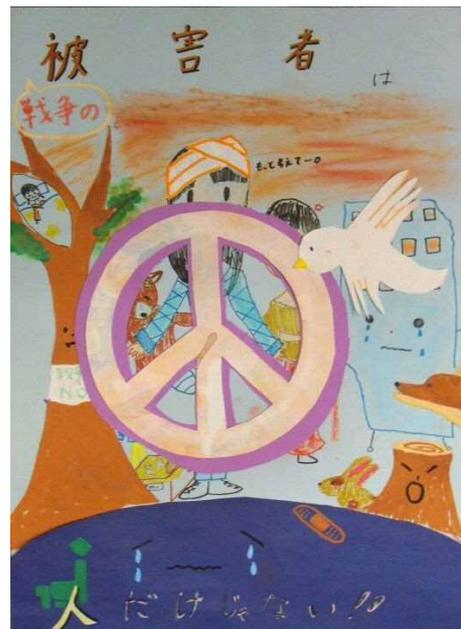
岩園小学校 6年 戸田 綾香さん



朝日ヶ丘小学校 6年 木下 ほほえさん



朝日ヶ丘小学校 5年 中村 倫琉さん



朝日ヶ丘小学校 6年 寺川 佳穂さん

## 平和首長会議加盟都市としての活動

芦屋市は、平成23年7月1日に平和市長会議（第8回総会で平和首長会議に名称変更）に加盟しました。



平成25年8月 平和市長会議総会にて



## 平和首長会議とは

広島市・長崎市は昭和20年（1945年）8月、原子爆弾の投下により、一瞬にして廃虚と化し、数多くの尊い命が奪われました。原子爆弾は、戦後70年以上経過した現在でも、放射線による後障害や精神的な苦しみを多くの市民に残しています。このような原子爆弾による悲劇が二度と地球上で繰り返されることのないよう、広島・長崎両市は核兵器の廃絶を求め続けてきました。

昭和57年（1982年）6月24日、ニューヨークの国連本部で開催された第2回国連軍縮特別総会において、広島市長が、世界の都市が国境を超えて連帯し、ともに核兵器廃絶への道を切り拓こうと「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」を提唱し、世界各国の都市に連帯を呼びかけました。

平和首長会議は、この趣旨に賛同する都市（自治体）で構成された機構です。

※加盟都市数 162か国・地域 7, 223都市

国内の加盟総数 1,661都市（平成29年3月1日現在）

## 2020ビジョン 核兵器廃絶のための緊急行動

平和首長会議では、2020年までの核兵器廃絶を目指す行動指針「2020ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）」を策定し、加盟都市の市民、NGO等と連携しながら、核兵器廃絶に向けた様々な活動を展開しています。

### 「2020ビジョン」の目標

#### (1) 全ての核兵器の実戦配備の即時解除

世界には今もなお、多数の核兵器が実戦配備されています。世界の市民がこうした脅威に直面している中、誤使用も含めた核兵器の使用を回避するため、全ての核兵器の実戦配備を即時解除することを求めます。

#### (2) 「核兵器禁止条約」締結に向けた具体的交渉の開始

核兵器の全面的廃絶に対する核兵器保有国の明確な約束等これまでのNPT再検討会議等での国際合意を根拠に、各国政府に「核兵器禁止条約」締結に向けた具体的交渉を開始するよう求めます。

#### (3) 「核兵器禁止条約」の締結

核兵器の開発、製造、実験、備蓄、使用等の禁止及びその廃絶について規定する「核兵器禁止条約」が締結されるよう、各国政府等に要請します。

(4) 2020年を目標とする全ての核兵器の解体

厳格な国際管理の下、被爆75周年となる2020年までに地球上の全ての核兵器を解体することにより、核の恐怖から解放された平和な世界の実現を目指します。

## 「2020ビジョン」に基づく芦屋市の取組

芦屋市では、「2020年ビジョン」の下、平和首長会議行動計画（2013年－2017年）に基づき、次のような活動を行っています。

- 「核兵器禁止条約」締結の交渉開始を求める市民署名活動
- 「ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター展」の開催
- 核実験を行った国に対する抗議文の送付
- 被爆樹木アオギリ二世の植樹  
(平成29・30年度植樹予定)



平和首長会議  
Mayors for Peace

## 広島市の被爆樹木二世: アオギリ

### Second-generation A-Bombed Chinese parasol tree from Hiroshima



(広島市の平和記念公園内の親木)

Mother tree Chinese parasol (*Firmiana simplex*)

1945年8月6日午前8時15分、一発の原子爆弾により広島市の街は廃墟と化し、その年の暮れまでに14万人もの市民が亡くなりました。

被爆樹木は、被爆の惨禍に遭いながらも、焼け焦げた幹から再び芽吹き、市民に生きる勇気と希望を与えるとともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え掛けています。

貴自治体にお贈りしたこのアオギリの二世が大切に育てられ、多くの人々に愛されることにより、貴自治体の平和のシンボルとなることを心から願っています。

平和首長会議

このアオギリは、生き残った親木の種から発芽したものです。親木は爆心地から1,300メートルの距離にある旧広島通信局（広島市中区東白島町）の中庭で被爆しました。爆心地側の幹半分が原爆の熱線と爆風により焼けてえぐられましたが、焦土の中で青々と芽を吹き返し、市民に生きる勇気と希望を与えました。1973年に平和記念公園に移植され、今も成長を続けています。



芦屋川

## Ⅲ 芦屋市の戦争の記録

市民とともに考える「芦屋の戦争」展（平成3年7月発行）

市民と考える戦争展資料「芦屋への空襲記録」（平成4年7月発行）

いまこそ語り継ぐ 私の戦争体験記～芦屋市民の記録～

（平成18年7月発行）

広報あしや 戦争関連記事

※以上は、過去に芦屋市が発行した資料を集成したものです。

芦屋市内の戦争遺跡

用語説明

